

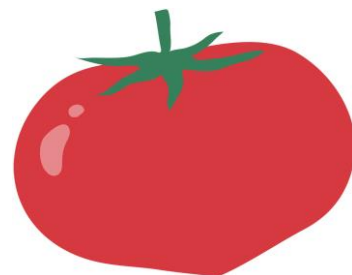


とうえい

令和6年3月12日
東栄小学校
学校だより第11号

本当の自分！～あなたらしさ～

「誰とでもちょうど良い人間関係を保っているからすごく好かれている。話しかけやすさもあるし、やさしいから友達が多い！」この文は、6年生の一人の子がクラス全員一人一人の良いところを書いた自主学习ノートの一部です。各学期末に書いており、いつも感心していました。子どもたちは一人一人性格も違い、それぞれの良さがあるので、ありのままの個性を活かしたあなたらしさを大切にしてほしいと思います。そこで、書家で詩人の相田みつをさんがつくった詩「みんなほんもの」を紹介します。



トマトというものはどちらかというと、ありふれた野菜です。この詩の中では人間をトマトとして表現しており、私たちにはどこか自分を上等な果物であるメロンに見せかけたい、メロンとして見られたいと思う気持ちがあります。様々な人たちと接していく中でその人本来のありのままの姿ではなく、いつもの自分とは違った自分を見せようとして苦勞している人もいるのではないのでしょうか？一番大事なのは、本当の自分として成長していくことです。

トマトがねえ
トマトのままていれば
ほんものなんだよ
トマトをメロンに
みせようとするから
にせものに
なるんだよ
みんなそれぞれに
ほんものなのに
骨を折って
にせものに
なりたがる

「自分探し」という言葉をよく使いますが、自分というものは、押し入れを開けば見つかるようなものではありません。自分探しとは、自分は一体どういう人間なのだろうということを絶えず模索することだと思います。物事に成功をしたら自分にもこんないいところがあるのかと、今まで気付かなかった自分に気付いたり、失敗をしたらその失敗をしっかりと受け止めたりすることが大切です。また、吉田松陰が残した「未見の我（みけんのわれ）」という言葉があります。私たちは自分自身を全部知っているわけではありません。いろいろな人との出会いや様々な経験を通じて「未だ見ざる我」に気付きながら、本当の自分を自分らしく作っていくことが大事なのです。

次の歌詞は、歌手のA Iさんが歌っている「Story」の一部です。～♪時に人は傷つき傷つけながら 染まる色はそれぞれ違うケド 自分だけのStory 作りながら生きていくの だからずっとずっと あきらめないで・・・♪～ これからの人生において、どのような道をどのように歩くとも、時間をかけてじっくりと自分の価値観を作りながら、ありのままの個性を活かして、あなたらしく一歩ずつ歩み続けてほしいと思います。最後になりましたが、一年間保護者及び地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力いただきましたことに深く感謝いたします。

(校長 井田 寿)